令和７年度

第４回草津市地域福祉推進市民委員会　会議録

■日時：

令和７年 11 月 26 日（水）13 時 30 分～14 時 10 分

■場所：

５０２会議室

■出席委員：

小田巻委員、清水委員、三上委員、山口委員、野口委員、田渕委員、柴田委員、
村上委員、涌井委員、髙山委員、新木委員、岡田委員、水谷委員

■欠席委員：

粟津委員、山本委員

■事務局：

【健康福祉部】黒川部長、板垣理事、宮嶋総括副部長、小川副部長、松尾副部長
【健康福祉政策課】中瀬課長、岡田課長補佐、増田専門員
【人とくらしのサポートセンター】黒川副係長
【長寿いきがい課】林田副係長
【障害福祉課】山元係長
【草津市社会福祉協議会】馬場グループ長

■傍聴者：　なし

１．開会

【事務局】

＜傍聴者の報告＞

＜新委員の紹介＞

＜会議成立の報告＞

２．議事

【委員長】

それでは議事に入ります。本日、審議いただく議題は１件となります。議題の「第５期草津市地域福祉計画（案）について」、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

（資料１、２、３について説明）

【委員長】

ありがとうございました。ただ今の説明について、委員の皆様からご質問、ご意見ございませんか。資料２につきましては、皆様からご意見をいただいたものについて修正等されたことを説明いただきました。

皆様のご意見は反映されていますでしょうか。

【委員】

はい。修正されていました。

【委員長】

ありがとうございます。他にどうでしょう。

副委員長、何かありますか。

【副委員長】

適切に修正されていると思います。

【委員長】

他、いかがですか。

【委員】

77 ページの「孤独・孤立対策の推進」の課題についてですが、孤立している人を見つけ出すにはどうしたらよいのですか。民生委員や社会福祉協議会と書いてありますが、現実的には無理だと思います。若い人や中高年の孤立している人を見つけ出すこと、どこの家のどの人が孤立しているかということを把握するのは難しいです。何か良い方法があれば教えてください。

【委員長】

ありがとうございます。

77 ページの「孤独・孤立対策の推進」の現状と課題のところで、「民生委員・児童委員等の声掛けや草津市社会福祉協議会による電話訪問など、社会とのつながりを途絶えさせない取組や女性が経済的困窮により孤独・孤立状態に陥らないためのサポート、こどもとその保護者に向けた居場所づくり等の支援を行っています。」と記載されていますが、孤独・孤立状態の人をどのように見つけ出すのかということです。これについて事務局いかがですか。

【事務局】

孤独・孤立につきましては、国において法律が施行され、行政においても一層取り組んでいく必要があります。孤独・孤立に陥っている方を把握するのは、おっしゃる通り非常に難しいです。ただ、行政としても今後、人口減少であるとか担い手不足など、そういった課題がございますので、まずは陥らないための取組を進めるとともに、現に孤独・孤立に陥っている方については、民生委員あるいは近隣の方、そういった方が気づいて行政に相談しやすい、そういった体制を築いていく必要があると考えております。

【委員長】

民生委員は約250名草津市にはいらっしゃいます。その方たちの協力、またいろいろな相談を受けておられる団体との協力もあります。一軒一軒訪ねて確認するのは難しいですが、市では相談体制をしっかり築いていくという説明でございました。その中で見つけ、把握していくということも大事かと思います。

他、ありますか。

【委員】

一人暮らしのひきこもりはものすごく多いです。それも中年層の方です。そういった人を見つけ出すのは難しいです。

【委員長】

学区の地域サロンやふれあいサロン等を通じて、ひきこもり、一人暮らし等の把握ができることもあります。

地域サロンは草津市でいくつありましたか。

【事務局】

今年は155箇所です。

【委員長】

地域サロンは155箇所ありますが、ひきこもりや一人暮らしの方の対策について市から支援を受けながら運営されています。

また、一軒一軒訪ねていくことはできませんが、民生委員さんも活動の中で把握に努めていただいております。

【委員】

民生委員も、一人暮らしでひきこもりの方をすごく心配しております。以前、草津市民生委員・児童委員協議会で、それぞれがわかる範囲で、ひきこもりや一人暮らしの気になる人を挙げてみて、「訪問に行けるところは一度行きましょう。」とか、「ここはよくわからないからご近所さんに聞いてみましょう」とか、「他のエリアの担当の人が、その人だったら知っている」とか、そのようなことを利用しながら、人とくらしのサポートセンターにつなげて一緒に訪問をします。

すべての孤独やひきこもりを把握するのは難しいと思いますが、１人、２人と少しずつでも何とか色々相談機関につなげたりはできていると思います。

【委員長】

今、委員がおっしゃったような活動はこれまでからどの学区も進めておられ、人とくらしのサポートセンターにつないでいただくことで、把握が進むことにもなります。

他にございますか。よろしいでしょうか。

以上で、本日の議事はすべて終了となりますが、よろしいでしょうか。

委員の皆様ありがとうございました。

草津市地域福祉計画の策定に向けて、委員の皆様には大変貴重なご意見をいただき、本当にありがとうございました。この場をお借りして、委員及び事務局の皆様にお礼を申し上げます。委員の皆様には引き続き、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

それでは進行を事務局にお返しさせていただきます。

【事務局】

皆様、本日はありがとうございました。

今後の予定ですが、本日、皆様に最終案の確認をいただきまして、先ほど説明しました通り、12 月 15 日よりパブリックコメントを実施する予定です。その結果、この計画案の内容に大幅な変更が生じた場合は、３月頃に当委員会を開催させていただく場合がございますが、軽微な修正等につきましては、委員長と副委員長に報告させていただきまして、計画を確定させていただきたいと思います。

その際は、３月の下旬頃に委員の皆様に計画書と概要版を送付させていただく予定でございます。

第５期の草津市地域福祉計画につきましては、昨年 10 月に開催いたしました令和６年度の第１回から本日まで、計６回の委員会でご審議いただいてまいりました。皆様より大変貴重なご意見をいただき、お陰を持ちましてパブリックコメントの実施という段階まで進むことができました。この場をお借りしましてお礼申し上げます。

委員の皆様には、引き続き、ご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

これにて、本日の会議は終了させていただきます。ありがとうございました。

３．閉会